

# 経営比較分析表

東京都 神津島村

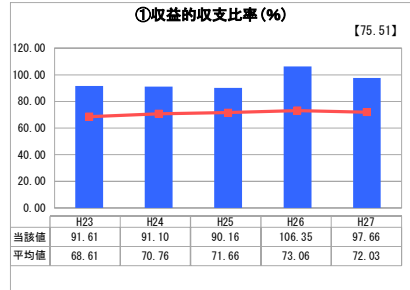
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.79	2,480

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,927	18.58	103.71
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,866	0.01	186,600.00

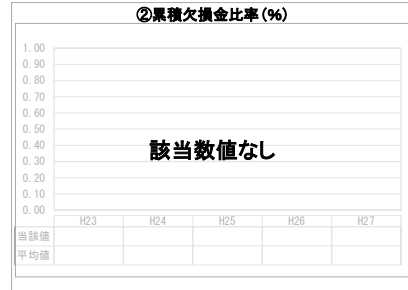
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



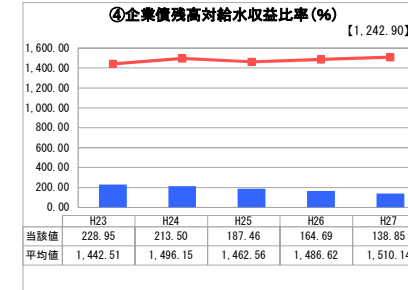
「単年度の収支」



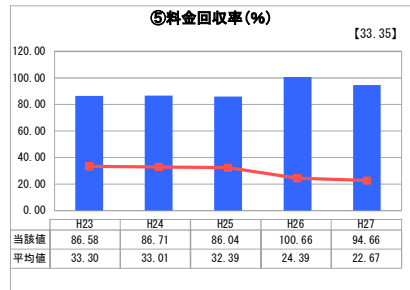
「累積欠損」



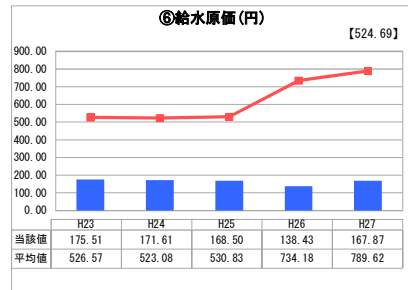
「支払能力」



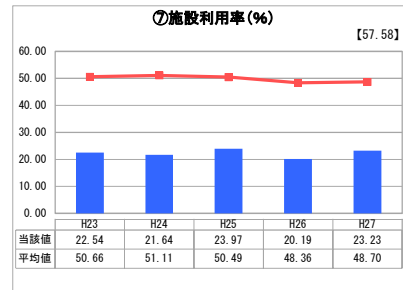
「債務残高」



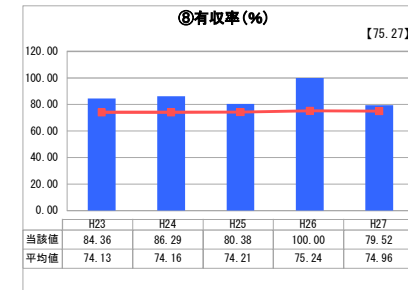
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

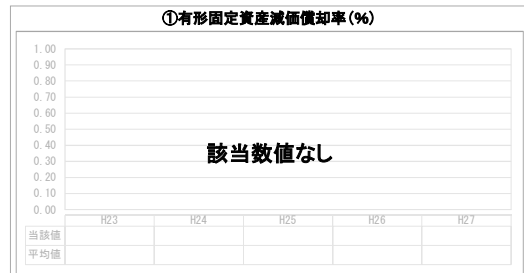


「施設の効率性」

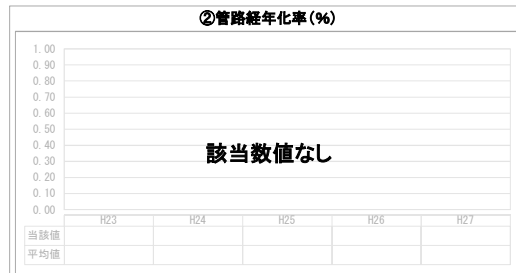


「供給した配水量の効率性」

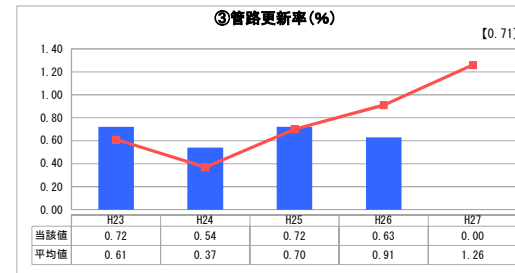
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は全体的に右肩上がりであり、赤字経営は減少している。要因として、H9～H15に実施された大規模な管路布設替替工事に伴い、しばらくの間、修繕対応が落ち着いており、供給した配水量の効率性が高いと考えられる。また、当村の上水道はすべて井戸水を滅菌し使用している為、他の自治体に比べ浄化施設等の省略により、給水原価が抑えられ、収益的収支比率が全体的に高い理由となっていると考えられる。債務残高は期間中大規模な借入がなく、償還完了による減少が見込まれる。料金水準については徴収率が高く、適切であると認められる。施設の効率性は配水能力に余裕があり、各配水池の事故対応等に十分な能力が期待できる。

### 2. 老朽化の状況について

H9～H15にかけて、大規模な管路布設替替工事を実施している。その際、対象地区から外れたものうち、古い管路については、今後検討し、随時更新を付けていく。

## 全体総括

古い本管等の改修工事を検討し随時行っていくことで供給の効率性をいっそう高め、収益的収支を高くし、施設整備に必要な財源を確保していく必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。